

世界政体／世界文化の理論構築に貢献する グローバル・テスト・ガバナンスの研究

さわだ たかひと

国際言語文化学科 澤田 敬人

●連絡先 TEL：054-264-5254 FAX：054-264-5254

キーワード 世界政体／世界文化、同型化、政策借用／教育借用、オーストラリア、プリンシパル＝エージェント関係、合理性神話、ハイスティクス性、グローバル・テスト・ガバナンス、多文化主義



OECD の PISA など代表される国際学力調査への参加国が徐々に増えている。その一方で先進国・発展途上国・新興国の別を問わず世界各国は自前の学力調査を実施する政策を精力的に進めている。グローバル化した時代における国際と国内双方のテスト政策を分析する視角として、本研究では国民国家／国民文化と同じ機能を残しつつも国境を越えたより大きな単位として世界政体／世界文化を措定し、なぜ世界各国は同時に国際学力調査と自前の国内学力調査を行う判断に至るのかを明らかにする。このように世界政体／世界文化の中でグローバルに収斂する理論を提示しつつ、世界各国に見られる判断の差異については、国際・国内双方のテスト政策に見られるハイスティクス性に重点を置いて各国事例を積み上げている。ハイスティクスなテストは状況に応じて簡単にロースティクスに移行し、その逆の向きも確認されている。本研究ではとりわけオーストラリアの国内学力調査である NAPLAN によるテスト政策を各国事例の一つとして精査している。



アピール ポイント

本研究で論じている世界政体／世界文化は世界で統一的な価値がもしあるとしたらそれは何なのかを追究しています。人類文化の多様性の研究で道に迷ってしまったかたは、ぜひ本研究をヒントに再出発し目的を遂げてください。